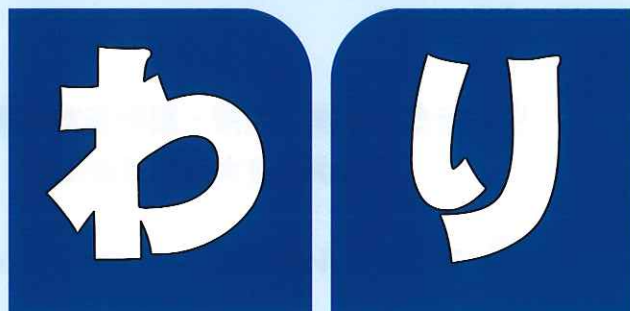






Vol.53 / 夏季号

平成27(2015)年7月1日発行
(年3回7・11・2月発行)



日農工会報












-  **新たな食料・農業・農村基本計画**
-  **ブラッセル出張報告**
-  **第54回従業員功労表彰受賞者一覧**
-  **新社長の紹介**



表紙撮影 山本莉子さん

CONTENTS

| | |
|---|----|
|  新たな食料・農業・農村基本計画 農林水産省大臣官房政策課 | 1 |
|  ブラッセル出張報告 日農工専務理事 田村敏彦 | 4 |
|  平成27年度 第54回従業員功労表彰受賞者一覧 | 7 |
|  趣味は、身を助ける フジイコーポレーション(株) 代表取締役 藤井大介 | 14 |
|  健康相談 | 16 |
|  フォトギャラリー | 17 |
|  会員ニュース 2つの賞に挑戦しました！ 森田理恵 | 20 |
|  日農工だより | 22 |
|  新社長の紹介 | |
| (株)啓文社製作所 社長 柴田 修明 | 23 |
| (株)共栄社 社長 林 秀訓 | 23 |
| マメトラ農機(株) 社長 細田 康 | 24 |

表紙 撮影地：愛知県名古屋市(自宅)

タイトル：「ぬこ様」

哲学的な面構えと騙されてはいけません。このぬこ様の
やる気の無さ。にゃんかワタシに ようかにや

山本莉子さん

新たな食料・農業・農村基本計画について

農林水産省大臣官房政策課

◆ はじめに
 平成27年3月30日に、農政の中長期のビジョンとなる、新たな食料・農業・農村基本計画（以下「基本計画」という。）が閣議決定されました。
 新たな基本計画は、食料・農業・農村基本法（平成11年7月制定）に基づき決定された4回目の基本計画となります。食料・農業・農村政策審議会の企画部会における17回にわたる議論、現地視察、地方意見交換会を経て、3月24日の本審議会での答申を受けて決定されたものです。



のため、関係者の発想の転換や、改革の必要性についての認識の共有が求められていることなどを述べています。

こうした認識の下、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等で示された施策の方向等を踏まえつつ、食料・農業・農村政策の改革を進め、若者たちが希望を持てる「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指していくこととしています。

第1 食料、農業及び農村に関する施策についての基本的な方針

第1では、食料・農業・農村をめぐる情勢と、主な施策の評価と課題、施策を推進するに当たっての基本的な視点を示しています。

具体的には、高齢化や人口減少、グローバル化などの観点から、情勢の変化や施策の評価と課題を整理しています。その上で、現在が施策展開に当たっての大きな転換点であるとの認識に立ち、農業の構造改革や新たな需要の取り込み等を通じ、農業や食品産業の成長産業化を促進する「産業政策」と、構造改革を後押ししつつ、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」を車の両輪として施策の改革を推進することとしています。

第2 食料自給率の目標

食料自給率目標については、前基本計画の検証結果を踏まえ、計画期間内における実現可能性を重視し、平成37年度の目標としてカロリーベース

◆ 本基本計画の内容について

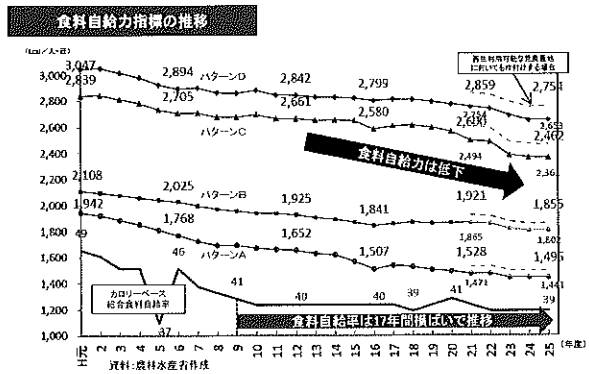
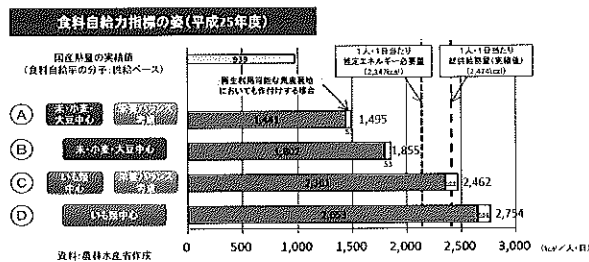
本稿では、基本計画全体を簡単にご紹介した後、生産・流通現場の技術革新等に関連した記述について、ご紹介いたします。

○ まえがき

我が国の農業・農村においては、6次産業化や農林水産物・食品の輸出へのチャレンジ、若者を中心とした「田園回帰」といった新たな動きが広がっている一方で、農業就業者の高齢化や農地の荒廃など極めて厳しい状況に直面しています。こ

では現状 39 %から 45 %に、金額ベースでは現状 65 %から 73 %に引き上げる目標を設定しています。

また、我が国の食料の潜在生産能力を評価する食料自給力指標を新たに示しています。これにより、我が国の食料自給力の現状や過去からの動向についての認識を共有し、食料安全保障に関する国民的議論を深めたいと考えています。



第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

1. 食料の安定供給の確保に関する施策

食品の安全確保と、食品に対する消費者の信頼を確保するための取組を推進するとともに、食育や国産農産物の消費拡大、「和食」の保護・継承等を推進することとしています。

また、食料の安定供給という重要な役割を担っている農業や食品産業が、消費者の多様なニーズへの的確な対応や国内外の新たな需要の取り込み等を通じて健全に発展するため、6次産業化、農林水産物・食品の輸出、食品産業の海外展開等の取組を促進することとしています。

さらに、様々なリスク（我が国の食料の安定供給に影響を及ぼす可能性のある様々な要因）に対応した総合的な食料安全保障を確立するため、食料の安定供給に関するリスクの定期的な分析、評価や、不測時の具体的な対応手順の整備等を進めることとしています。

2. 農業の持続的な発展に関する施策

農業経営の法人化、新規就農の促進など担い手の育成・確保や、女性農業者が能力を最大限に発揮できる環境の整備を進める旨を明記するとともに、経営所得安定対策を着実に推進することとしています。

また、農地中間管理機構のフル稼働による担い手への農地集積・集約化と優良農地の確保、構造改革の加速化に資する農業生産基盤の整備等を推進することとしています。

さらに、米政策改革の着実な推進、飼料用米等の戦略作物の生産拡大とともに、畜産クラスターの構築、園芸作物の供給力の強化などに取り組むこととしています。

生産・流通現場の技術革新等については、現場のニーズを踏まえた研究開発と技術移転の加速化や、規模拡大、低コスト化等を可能とするため、スマート農業の実現等に向けた取組を推進することとしています。

また、気候変動への対応など、農業分野の環境政策についても総合的に推進することとしています。

3. 農村の振興に関する施策

多面的機能の発揮を促進するため、多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度を着実に推進するとともに、地域コミュニティ機能を維持するため、生活サービス機能等を基幹集落へ集約した「小さな拠点」と周辺集落とのネットワーク化を推進することとしています。また、深刻化、広域化する鳥獣被害への対応を図ることとしています。

また、農産物等を活かした新たな価値の創出、バイオマスを基軸とした新たな産業の振興、再生可能エネルギーの生産・利用、農村への関連産業の導入等を通じ、農村全体の雇用の確保と所得の向上を推進することとしています。

さらに、観光、教育、福祉等と連携した都市農村交流を戦略的に推進するとともに、交流人口の増加を移住・定住へと発展させていく取組を推進することとしています。また、都市農業の有する多様な機能の発揮に向けて、持続的な振興を図ることとしています。

4. 東日本大震災からの復旧・復興に関する施策

地震・津波災害からの復旧・復興に向け、農地や農業用施設等の着実な復旧、将来を見据えた農

地の大区画化等を進めるとともに、原発事故に伴う風評被害の払拭や、輸入規制の緩和・撤廃に向けた諸外国への働きかけなどに取り組むこととしています。

5. 団体の再編整備等に関する施策

食料・農業・農村に関する団体（農協、農業委員会等）が、その機能や役割を効果的かつ効率的に発揮できるようにしていくため、事業・組織の見直しを行うこととしています。

第4 食料、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

国や自治体、農業者、消費者などの適切な役割分担の下、施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、「農林水産業・地域の活力創造本部」を活用して政府一体となって施策を推進することなどを明記しています。

○ 生産・流通現場の技術革新等に関連する記述について

生産・流通現場の技術革新等については、基本計画本文の第3の2に「コスト削減や高付加価値化を実現する生産・流通現場の技術革新等」と項目を整理しています。

① 戦略的な研究開発と技術移転の加速化

農業者や消費者等のニーズに直結した研究開発を推進するため、研究開発段階における農業者や食品産業事業者、普及組織等の参画を推進することとしています。

また、協同農業普及事業について、農業資材販売等と併せて営農情報を提供する民間企業等との役割分担を図り、新たな品種の導入等に係る地域の合意形成や新規就農者の支援、地球温暖化及び災害への対応等、公的機関が担うべき分野についての取組を一層強化することとしています。

最先端技術の研究開発及び実用化に当たっては、国民への分かりやすい情報発信、生産者や消費者との意見交換を並行して行い、研究成果の実用化に向けた環境づくりを進めることとしています。

② 先端技術の活用等による生産・流通システムの革新

高齢化や労働者不足が進む中で、担い手の規模拡大、省力化や低コスト化を実現するため、

- ・スマート農業の実現に向けた取組、次世代施設園芸拠点の整備
- ・大規模経営に適合した省力栽培技術の開発と導

入
・農作業の外部委託が円滑にできる環境の整備などを推進することとしています。

併せて、需要に応じた生産や高付加価値化を進めるための技術導入、異常気象などのリスクを軽減する技術の確立を推進することとしています。

先端技術を活用したロボット技術の導入



パワーアシストスーツにより、傾斜地での農産物の運搬など、機械化が難しい重労働の軽労化を実現

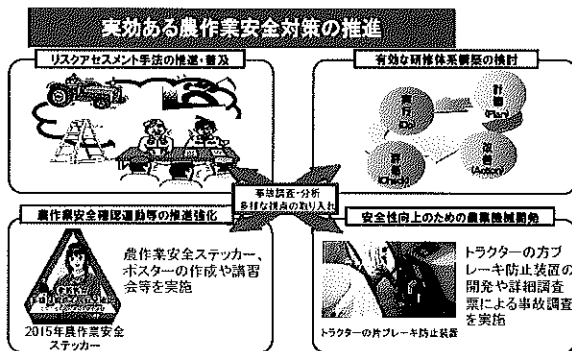


有人-無人協調システムを導入した複数走行により、限られた作期に作業できる規模を拡大

資料：農林水産省作成

③ 効果的な農作業安全対策の推進

農作業事故防止のため、事故の調査、分析から危険要因の洗い出しを行うリスクアセスメント手法の導入、研修体制や意識啓発活動の手法の見直し、安全性の高い農業機械の開発と普及など、より実効性のある農作業安全対策を推進するとともに、労災保険制度の周知と加入促進等に取り組むこととしています。



資料：農林水産省作成

◆ おわりに

今後、本基本計画に基づく施策を着実に推進していくために、関係者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。（基本計画の詳細については、農林水産省のホームページ（http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/siryuu.html）をご覧ください。）

食料・農業・農村基本計画

検索

ブラッセル出張報告

日農工専務理事 田村 敏彦

6月4日にベルギー・ブラッセルで開催されたアグリエポリューションの Steering Committee Meeting に出席してきました。

日時：6月4日(木) 9時～16時

場所：ベルギー・ブラッセル、イタリア貿易センター内会議室

ホスト団体：欧州農業機械協会 (CEMA)

出席者：日農工・田村敏彦



I. 会議概要

1. Technical Committee Meeting について

米国 AEM が提案して準備を進めていたが、参加者の集まりが悪いことから、7月開催は延期することになり、今後の扱いは次回会合（11月ハノーバー）で議論することになった。

2. 新しい統計情報交換プログラムについて

2月の前回会合において、「Systematics」というシステムを使ってトラクター等の出荷情報をグローバルにデータ交換しようという提案が、CLAAS, Deere, CNH, Krone の作業グループからあり、参加の是非については引き続き検討していくこととなっていた。

各国の参画企業が直接システムにデータ入力し、データベース化して集計することにより、参画企業は毎月世界市場動向を把握できるようになるというコンセプトであるが、費用や作業が伴うこともあり、そのメリットをより明確

化する必要があること、競争法の観点から事前にリスクを排除しておく必要があることなどが議論の中心になった。

結論としては、提案を良い機会ととらえ、議論を前に進めることになった。

3. Global Impact Statement、2016 Summit の広報活動

参加メンバーから各々の活動報告が行われた。日農工からは、5月の定時総会において、出席した会員企業、政府関係者、業界紙関係者等に紹介した旨の報告を行った。

4. 中国農機工業会 CAAMM の扱いについて

中国からは農機流通業協会 CAMDA が正式メンバーとして既に参加しているが、農機製造者協会 CAAMM にはまだ中国政府から承認が出ていないため、暫定メンバーのままになっている。これまでは暫定的に Economic Committee に参加していたが、すでに猶予期間は過ぎてい

るので、10月のEconomic Committee（青島）までに政府の承認が出なかった場合には、CAAMMは参加資格を失うことが確認された。

5. 2016 Summit について

ホストのトルコ農機工業会 TARMAKBIR から以下の報告が行われた。

- ・農業大臣から周辺国等の農業大臣への招待状にサインをもらったので、近々に発送する。
- ・アグリエボリューションメンバー宛に招待状を送るので、政府機関に渡してほしい。
- ・まだスピーカーが確定していないメンバーは早く決めてほしい。

事務局からの要請は以下のとおり。

- ・各メンバーは、スピーカーを決め、事務局とTARMAKBIRへ報告する。
- ・スピーカーはプレゼンテーションの概要を10月1日までに事務局へ送る。
- ・今後の対応については、TARMAKBIRから各メンバーに連絡する。
- ・次回会合までに詳細をフィックスさせたいので、協力してほしい。

6. 次回会合

11月10日（火）、ハノーバーのAGRITECH-NICA会場内、ホストは独VDMA。

II. 番外編

a. マロニエ恐るべし

6月のヨーロッパは気候的にはベストシーズンだと聞いていたのですが、思いもよらぬ悪魔が待ち受けていました。それは街路樹や公園にごく普通にあるマロニエの木から飛散する花粉です。私は花粉症歴10年を超えるベテランですが、日本では花粉症シーズンは終わっていたため、全くのノーガードでした。マロニエの並木道を歩いていると、目は痒くなるわ、鼻水は出てくるわ、くしゃみは止まらないわ、悲惨な目に遭いました。6月上旬頃は、花粉から綿毛への過渡期で両方が飛散しているようです、来年行かれる方はご用心あれ。



マロニエの並木道



公園にはマロニエの大木

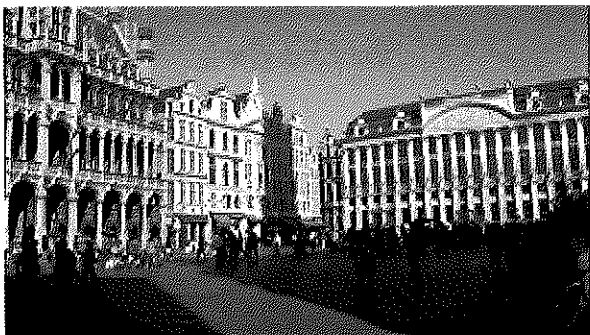
b. ブラッセルはヨーロッパの中心か

1957年に現在のECの前身であるEECがオランダ、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、フランス、イタリアによって設立されましたが、ブラッセルがECの本拠地に選ばれた理由は、ベルギーが中立的な小国であったこと、都市の立地が良かったこと、インフラが整っていたことのようにです。地理的には、2大国のドイツとフランスの間にうまく落ち着いた、ということでしょうか。



EC本部ビル

EC 本部には約 25,000 人の職員がいるらしいですが、その多くは各加盟国からの派遣職員です。会議前日の Dinner での雑談の中で、「職員の仕事の半分は EC のためだが、残りの半分は自国のために働いているんだ」と自嘲気味に打ち明けてくれました。寄り合い所帯の EC では「さもありなん」でしょうね。



グランプラス

c. ブラ歩き

ブラッセルの観光の中心はヨーロッパで一番美しい広場と言われるグランプラスで、夏の間は夜 10 時頃まで明るいので、夜遅くまで観光客で賑わっています。

ベルギーチョコレートは日本では GODIVA が有名ですが、Jean Galler や Leonidas などの人気店も、グランプラスのそばにあります。



幸いにも、まだ中国人の爆買いの餌食にはなっていないようです。



グランプラス近くのレストラン通り

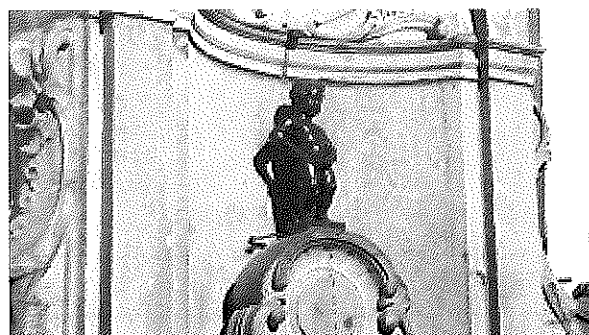
市内のレストランでは、ホーローのバケツに山盛りに入った名物のムール貝が食べられます。一応、牡蠣と同じで"r"の付く月なら安心して食べられますが、6月は"r"が付かないのにバクバク食べている観光客を見かけました。CE-MA の Ulrich に訊いたら「地元の人はこの時期は絶対に食べないよ」と苦笑いされました。



街の人気者「小便小僧」は、グランプラスからお土産通りを少し入って行ったクラブ屋の角の賑やかな場所に居ます。

一方、小便小僧の裏番「小便小娘」はレストラン通りから路地裏に入ったところに居ますがなぜか鉄格子と南京錠に防護されています。

その理由は・・・現地で実物を確認してみてください。(了)



かの有名な小便小僧



路地裏の小便小娘

平成27年度

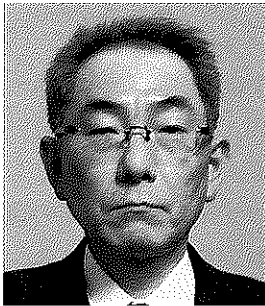
第54回従業員功労表彰受賞者

“合理化の促進、技術の改良開発、販売の促進等
企業発展に著しく寄与した者に贈られる”

表彰式：平成 27 年 5 月 27 日
於：東京都港区 八 芳 園

注：勤続年数は平成 27 年 5 月現在

[製造部門]



蛭 名 勝 隆

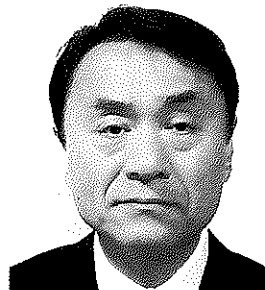
(株)ササキコーポレーション
生産本部生産技術課
チーフエンジニア
(勤続年数 36.1年)

【功績の概要】

昭和54年入社以来36年間、生産部門一筋に歩み続け、特に溶接技術に卓越した技能を発揮し、品質の向上に貢献してきた。現在は、幅広い知識と長年の経験から、生産技術課において治工具類の製作に携わり、生産性向上に大きく貢献した。

【功績の概要】

昭和59年入社以来、製造本部札幌工場に勤務し、平成23年に製造本部札幌工場管理課課長に就任、現在に至っている。この間、札幌工場の生産管理の業務効率向上、コスト削減、品質向上に取り組み、生産性向上に大きく貢献した。



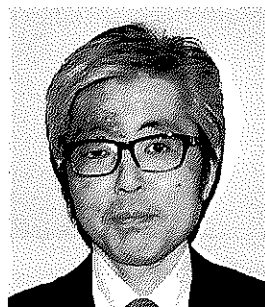
赤 羽 孝

(株)デリカ

製造部副部長
(勤続年数 37.1年)

【功績の概要】

昭和53年入社後、技術部門において設計・研究開発業務を担当した。その後、製造部門において製品に関する豊富な知識をもとに、主力製品であるマニアスプレッタの生産性向上、原価低減に大いに貢献した。現在は製造部副部長として、工場運営の重責を果たしながら、後継者の育成にもあたっている。



山 崎 恵 一

(株)タカキタ

製造本部札幌工場
生産管理課課長
(勤続年数 31.1年)



藤 辰 郎

ハスクバーナ・ゼノア(株)

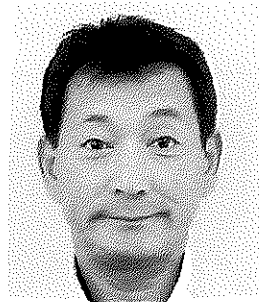
生産本部購買部長
(勤続年数 35.1年)

【功績の概要】

入社後10年間、生産技術部門で農林機器や油圧機器の生産工程のIE改善などで多大な成果を上げた。その後、農林機器の資材購買業務で原価低減に寄与するとともに、中国の現地法人責任者として工場の移転拡大にも貢献した。帰国後は、川越工場の生産責任者として業容拡大に努め、現在は購買部門の責任者として精励している。

【功績の概要】

昭和50年入社以来、製造部門に所属し、乾燥機、バーナー及び非量産製品など数多くの組み立て作業に携わり、女性多能工社員の先駆者として活躍している。また、精密な技術を要する色彩選別機の生産調整作業の確立にも尽力し、近年は、若手女性の後進育成にも努めており、社員の模範となっている。



小 西 登志雄

ヤンマー農機製造(株)
生産企画部生産技術部
技術企画グループ専任課長
(勤続年数 41.1年)

【功績の概要】

昭和49年、ヤンマー農機製造(株)の前身であるセイレイ工業(株)に入社後、岡山工場の組み立て及び塗装業務に従事した。平成11年からは課長として、溶剤塗装、粉体塗装、カチオン電着塗装の塗装設備導入により、塗装品質の向上に尽力した。平成26年からは、現部署において自社工場のみならず、グループ内外の生産拠点の塗装技術指導を先導し、グローバル生産体制における製品品質向上及び生産性の向上に寄与した。



徳 武 雅 彦

松 山 (株)

製造部長
(勤続年数 21.2年)

【功績の概要】

平成6年入社以来、製造部門において製造の重要な役割を担い、どの職場においても本来の果たすべき機能を妥協することなく追求し続け、生産性の向上に寄与した。特に品質問題の解決には力を入れ、現場の意識を含めた改革に取り組み、品質向上に大きな効果をあげた。



表彰状を授与する山岡会長



渡 辺 う め

(株)山本製作所

製造部組立第2グループ
(勤続年数 40.1年)

【研究・開発部門】

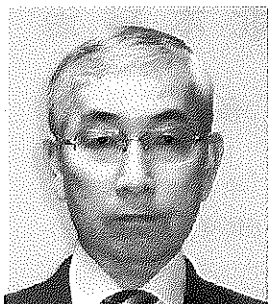


佐々木 武彦

アグリテクノ矢崎(株)
開発部
チーフマネージャー
(勤続年数 5.7年)

【功績の概要】

昨年春に商品企画し、今春に市場投入を予定している畝立・マルチ・施肥・消毒・播種の複合型農業機械をはじめ、現在の主力商品となっている不耕起高速播種機の商品企画に多大な成果をあげた。また、一昨年度から開発部門の責任者として重責を全うするとともに、後進への技術指導にも手腕を発揮している。

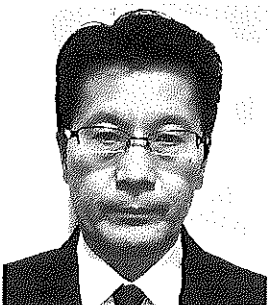


加藤 隆司

(株)アテックス
研究開発部技師
(勤続年数 36.1年)

【功績の概要】

昭和54年入社以来、情報システム、品質保証、研究開発など多岐にわたって才能を発揮した。特に、自社主要機種の開発設計業務に携わり、数多くの特許を取得するなど社業の発展に多大な貢献をした。また、CAD導入を推進し設計の効率化や製品開発に寄与するとともに、部下の指導育成などに優れた手腕を発揮した。



阿部 徹

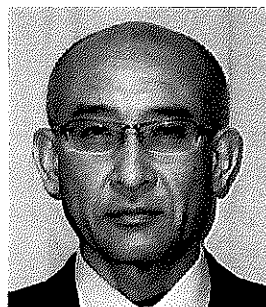
小橋工業(株)
開発部
開発設計チーム主事
(勤続年数 31.2年)

【功績の概要】

入社以来、開発部門に在籍、長年の経験により培った豊富な経験を生かして、チームの枠を超えたリーダーシップにより、作業機の商品力向上に尽力した。特に、業界初の機能を盛り込んだ商品開発に取り組むなど、高い次元で総合力を発揮し、常に作業機開発の最先端を担ってきた功績は顕著である。



お嬢さんと壇上に(株)山本製作所・渡辺さん)



浅井 綱一郎

静岡製機(株)
技術部次長
(勤続年数 31.1年)

【功績の概要】

長年にわたり技術部において新製品の開発に携わった。特に、乾燥機の開発にあたっては、数々の新製品を市場へ投入し、安定した性能・品質の製品として顧客及び販売店から高い評価を得ている。また、購買部門においては、生産システムの構築や仕入れ先改善、新規提携先の探索にも尽力した。現在は、次長兼生産技術課長として、技術部全体の開発指導、品質評価を行い、製造部門との連絡窓口として生産の指導も行っている。

[管理・営業部門]



藤井 清

(株)本田技術研究所
汎用R&Dセンター
執行役員管理室長
(勤続年数 36.1年)

【功績の概要】

入社後20年以上にわたり、耕うん機、除雪機、動力噴霧器等の完成機研究領域を担当した。特に、中大型除雪機の開発においては開発責任者として商品性能向上に貢献した。また、平成13年からの7年間は、ホンダヨーロッパ汎用研究所の拠点責任者として、欧州のローン&ガーデン商品の開発・生産を牽引した。

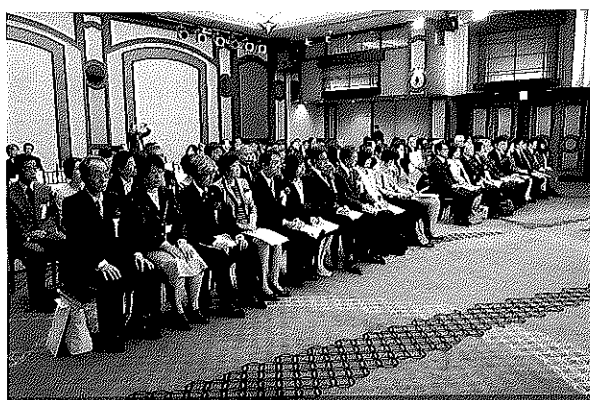


神保 和美

(株)山本製作所
農機事業部技術部
生産設計グループ
(勤続年数 34.1年)

【功績の概要】

昭和56年入社以来、主として技術部門に在籍し、新製品の開発や品質機能向上に尽力した。特に、主力製品である乾燥機や貯留式循環乾燥機（ドライデポ）の開発設計に携わった。また、営業技術サービス部門在籍時には、アフターサービス強化のための社員育成を行い、サービス業務の礎を築くなど、社業発展への功績は多大なものがある。



表彰式会場

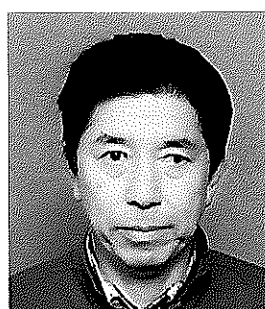


竹内 邦夫

(株)IHIスター
営業本部営業企画部
商品企画課専門課長
(勤続年数 35.1年)

【功績の概要】

昭和55年入社、酪農施設部に所属後、開発部、汎用機器部を経て営業本部へ配属となった。営業本部では、営業技術グループ長、仙台営業所所長、営業企画部専任課長、品質保証グループ長を歴任し、営業企画部・営業企画課長を経て、現在は商品企画課専門課長として、農機販売及び販売促進に多大な貢献をした。



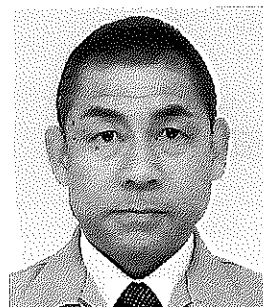
北本 裕治

有光工業(株)

サービス部部长
(勤続年数 37.1年)

【功績の概要】

昭和54年入社、営業部仙台出張所等に勤務した後、昭和63年サービス課に所属、同課の係長、課長心得を経て、平成16年サービス部部长となり、農業機械・工業用ポンプのスムーズな修理サービスに尽力した。また、部下の指導育成にも熱心に取り組み、仕事に対する熱意は同僚の模範となっている。



渡部 俊治

(株)大竹製作所
山形営業所
山形統括部長
(勤続年数 40.1年)

【功績の概要】

長年にわたり山形営業所の営業第一線で、顧客の厚い信頼を受けて誠実な対応を行い、顧客ニーズを捉え、また、顧客目線から開発の助言を行い、新製品開発に貢献した。近年は山形営業部の責任者として、部下の指導育成にも尽力し、業績アップに大きく貢献した。



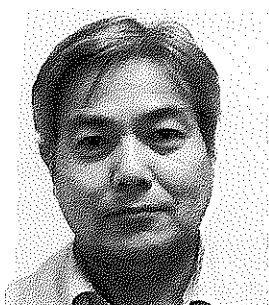
山田 伸之

小橋工業(株)

営業管理部部長格
(勤続年数 9.4年)

【功績の概要】

入社以来、営業部門に在籍し、現在は営業管理部部長格として、的確な生販在計画立案の他、「ぶれない信念」を持って多くの業務改善・改革にマネジメント能力を遺憾なく発揮した。また、関係部署からの信望も厚く、社業に貢献した功績は顕著である。

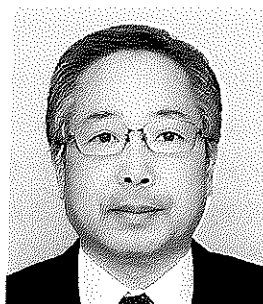


南 慎吾

金子農機(株)
営業本部
サービス部部长
(勤続年数 30.2年)

【功績の概要】

営業本部サービス部において、顧客ニーズに速やかに答えるべく、サービス要員の教育システムを構築し、「人づくり」をめざした営業社員全員の育成と先輩と後輩が共に育つ「共育」を目指し実践し、質の向上と技術力の育成に努めた。また、技術部門と連携し、埼玉県及び埼玉大学との産官学連携による粉燃焼機構開発に尽力、CO2削減・省エネ技術イノベーション促進事業にも取り組むなど、新商品の技術開発にも尽力した。



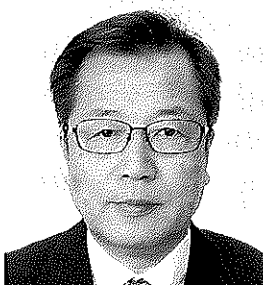
豊田 誠一

三陽機器(株)

札幌営業所次長
(勤続年数 33.2年)

【功績の概要】

昭和57年入社、製造部及び油機部に所属し、生産業務に従事した。その後、営業部門に異動し、岡山営業所を皮切りに、熊本営業所主任、仙台営業所所長、関東営業所所長、次長を経て、平成26年に札幌営業所次長に就任した。現在は、北海道地区の責任者として、その重責を果たすとともに、部下の指導育成にも尽力し、社業の発展に大きく貢献した。



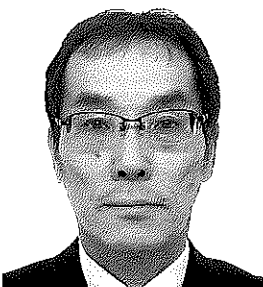
宇野 毅

静岡製機(株)

農機営業部部长
(勤続年数 38.1年)

【功績の概要】

入社以来、一貫して営業部門に所属、北海道から九州に至るまで、6つの営業所に在籍し、この間、乾燥機、低温貯蔵庫の販売及びサービス活動に貢献してきた。現在は、農機営業部部长として豊富な経験を生かし、営業所の統括と後輩の指導育成に手腕を発揮している。



北野 誠

(株)タイガーカワシマ

北陸営業所所長
(勤続年数 19.10年)

【功績の概要】

入社以来今日に至るまでの約20年間、北陸営業所において、富山、石川、福井の3県の営業を担当した。平成14年に所長に就任し、北陸地区の代理店とのコミュニケーションを深めるとともに、現場から新製品の提案や展示会応援による拡販に努めた。また、当用期のアフターサービスにも尽力し、代理店との信頼関係を築き、売上目標を達成し、業績向上に大きく貢献した。

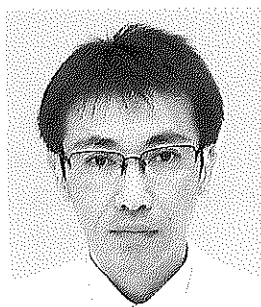


末岡 勝正

(株)タカキタ
営業本部本州営業部
九州営業所所長(課長)
(勤続年数 24.8年)

【功績の概要】

入社以来、一貫して営業部門に所属し、平成18年に南九州営業所所長、平成25年に九州営業所所長に就任した。この間、絶えず営業の第一線にあって、多大な業績を残すとともに、部下の指導育成にも尽力し、社業の発展に大きく貢献した



森 光 清 人

(株)筑水キャニコム
価値即納本部 兼 カルーセル経営企画本部本部長
(勤続年数 12.5年)

【功績の概要】

入社以来、財務部門の責任者として、経理・財務業務に地道に取り組み、計数管理や金融機関折衝の財務面から、社業の発展に大いに貢献してきた。現在は、製造部門の責任者も兼務し、会社組織の中心として重責を果たしている。

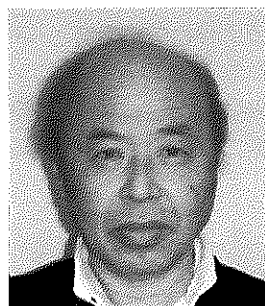


石 上 敏 光

(株)デリカ
営業・開発技術部
営業販売グループ課長
(勤続年数 28.7年)

【功績の概要】

昭和61年入社以来、常に営業の第一線を歩み続け、栃木営業所長時代には販売網の強化に取り組み、販売店との深い絆を築き業績向上に貢献した。平成26年からは、営業販売グループ課長として、各地営業所を統括するとともに、積極的に後継者の指導育成にも取り組み、社業の発展に尽力している。

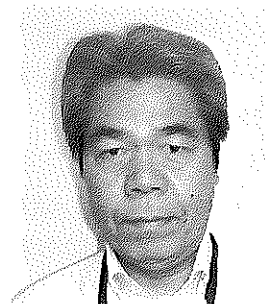


楠 満 知 夫

本田技研工業(株)
日本本部汎用パワー
プロダクツ営業部販売課主任
(勤続年数 41.5年)

【功績の概要】

昭和48年、(株)ホンダSF(ホンダ製品の四輪、二輪、汎用製品のサービス部門)に入社、農機特約店へのサービス研修を担当した。その後、汎用営業所でのサービス活動開始に伴い、関西や広島などの汎用営業所に勤務、汎用製品の拡販・サービス活動を通じて、取引先への貢献は多大なものがある。特に、サービス領域においては、取引先への研修や指導に尽力した。



平 岡 定 之

本田技研工業(株)
日本本部汎用パワー
プロダクツ営業部販売課主任
(勤続年数 41.1年)

【功績の概要】

昭和49年、(株)ホンダSF関西に入社、四輪、二輪、汎用製品のサービスを担当した。その後、四国、中国、関西、中部地区の営業所勤務を経験し、各地にて販売店との絆を築くとともに、指導育成に尽力した。汎用製品のサービスから営業まで幅広い分野で、41年の長きにわたり、農業機械の普及と事業拡大に貢献した功績は多大である。

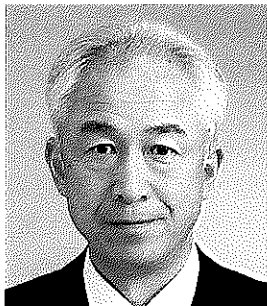


須川 義信

(株)やまびこ
やまびこ東北(株)
岩手営業所所長(出向)
(勤続年数 30.7年)

【功績の概要】

昭和59年入社以来、東北地区を中心とした営業に携わり、青森、岩手、福島、茨城の各営業所で所長を歴任、農業機械の販売推進に尽力した。エンジンや防除機に関する知識経験が豊富で、林業機械や防除機械の普及に多大な貢献をした。



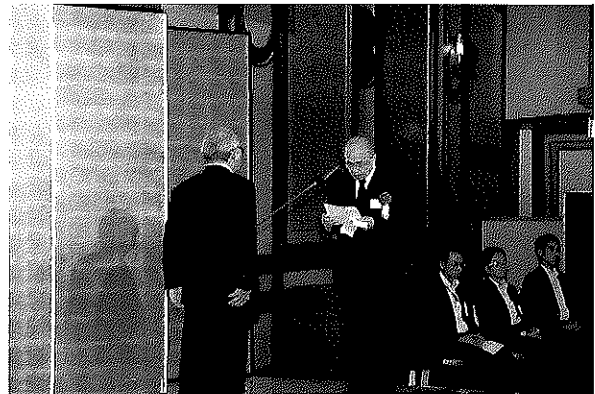
上田 博文

松 山 (株)

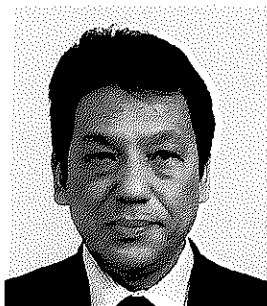
営業部長野営業所所長
(勤続年数 33.1年)

【功績の概要】

昭和63年入社以来、一貫して営業部門に所属、この間、常に営業の第一線にて市場開拓と営業基盤の確立に努めた。平成18年には関東営業所、平成22年からは長野営業所の所長として、厳しい市場環境の中で、組織の取りまとめに尽力し、営業所一丸となって目標達成に努めた。



受賞者を代表して謝辞を述べる本田技研・楠さん

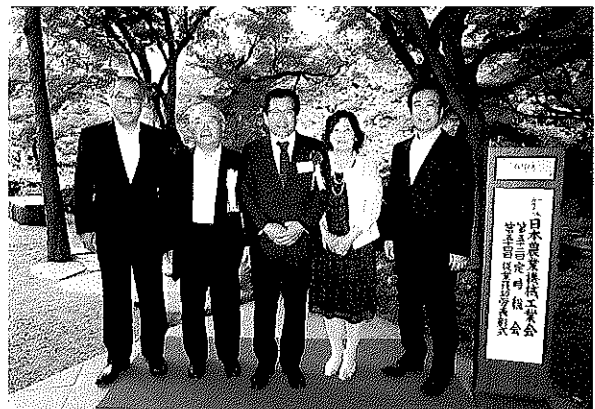


野口 忠

(株)丸山製作所
国内営業本部
営業管理部長
(勤続年数 37.1年)

【功績の概要】

昭和53年に入社、長年にわたって営業部門に従事、主として関東甲信越地区を担当し、販売の促進、営業網の整備、販売計画の策定に尽力した。平成23年より、営業管理部門に移り、国内営業部門全体の業務管理統括を担い、主要取引先との基幹窓口になるなど、営業本部の中核として社業の発展に多大な貢献をした。



庭園で記念撮影

趣味は、身を助ける

フジイコーポレーション(株) 代表取締役 藤井 大介



蝶々編

エピソード I

毎年リクルートの時期になると、「芸は身を助ける」という言葉を思い出さずにいられません。私の場合は「趣味は、身を助ける」が正しかったのですが…。

1982年初夏、会社訪問をしていました。希望職種は、金融それも国際金融でした。三年遅れのリクルート活動でしたので、当時の都市銀行(現メガバンク)には電話で門前払いされました。外銀と政府系の国際金融機関だけが、MBAに関心を持ってくれました。

趣味が身を助けたのは、実際に就職した政府系国際金融機関の最終試験でした。

その日の試験は、総務部長、理事の順に面接し、最後に人事課長面接がありました。人事課長から趣味を聞かれました。そこで私は、その当時趣味だった蝶々捕りについて長々と説明しました。

ベニヒカゲとクモマベニヒカゲの違い、蝶々採取にあたってその種の幼虫が食べる食草の分布を専門の地図で調べ、そこへ蝶々採取に行く事等。更に蝶々採取は早朝、理由は変温動物の為気温の低い朝は動きが鈍い等。

必死に説明していると、人事課長が一言。「夜の蝶々は捕らないよね!」と。

私は、「お言葉ですが夜は蝶々は捕れません。夜捕るのは蛾です。」と答えました。

その答えを聞いて、人事課長がリクルート担当者へ一言。「悪い事しそうにないので、良いじゃないの。」

当時私は夜の蝶々の意味が分からず、その生真面目さが評価されたということでした。今でも夜の蝶々は見ただけありますが、捕ったことはありませんので…念のため。

その後人事課長、担当者と私の三人で、社員食堂へ。三人でラーメンを食べていると、人事課長

がまた一言。「僕は翌年一緒に仕事する人以外とは食事しないんだ…。」

担当者が私に小声で一言「意味、わかったよね。」

蝶々とラーメンで、私の就職活動はあっけなく終了。

その日の日経新聞夕刊に、あみんの「待つわ」という曲がヒットしているという記事が掲載されていました。就職活動をしている大学生に大人気。人事部からの電話を待ちわびている学生に共感を呼んでいると書かれていました。

その記事を読んだ後、夕食を食べに出かけました。灯のうるむ街を歩いていると、あみんの「待つわ」が聞こえてきました。

余談①

現在では信じられない事ですが、MBAというだけで門前払いをする日本のメガバンクのアポ取りに苦勞している時です。リクルート活動に苦戦している私を見て、妹が一言。「お兄ちゃん、近くの公園の前にあるソフトバンクに行ってみたら。」

当時ソフトバンクは東京にある拙宅の近くのマンションの一室で、創業したばかりでした。

私はその言葉に、笑い転げました。

今は「私のアドバイスを聞いていたら…。」と妹に言われ、返す言葉もない私です。

もっとも幼かった妹は、ソフトバンクを外資系の銀行と思い込んでいたのですが…。MBAに関心を示さなかったメガバンクと私には、時代を見る目が無かったようです。あれから30年以上経ち、私の頭だけは白くなりました。

白髪頭だけでは、CMは無理ですね。白戸君!

エピソード II

15年前の話です。

機械事業以外の事業で、材料不良をだし、お客様に多大なご迷惑をお掛けした時でした。お客様のお怒りは相当なもので、先方の社長様にお詫びに行かなければならない事態になりました。

お客様のところに着くと、社長室に案内されました。部屋に入ると、先方の社長が待ち受けていました。さっそくお詫びを申し上げましたが、依然気まずい雰囲気…。

深々と頭を下げ再び顔を上げると、仏頂面の社

長の後ろにオオムラサキの写真。恐る恐る、その写真はオオムラサキではと何うと、先方の社長から「君、わかるかね！」と。



オオムラサキ

そこで、学生時代の蝶々捕りの話をすると、その社長も同じ趣味で、今も車の中に捕獲用のネットを入れてあると楽しそうに話されていました。それからはクレームの話は忘れ、お互いの蝶々談義を。すっかり意気投合してしまいました。最後は今回のトラブルはもう良いから、今度蝶々を捕りに行こうと言う事になりました。

購買担当者は、社長より小言を言って貰うという算段だったのですが、当てが外れて拍子抜けした様子。

材料不良のトラブルは、蝶々のお蔭で有耶無耶に。以前よりも、深い付き合いになりました。

蝶々に助けられ、蝶々が取り持った縁でした。



ヨット・ディングー編

◆◆◆ エピソードⅢ

大学時代、もうひとつの趣味はヨットでした。

ヨットというと多くの方はクルーザーを思いがちですが、私が乗っていたのはディングーという小さいボートです。

ヨットを始めた動機は、邪な思惑からです。

大学一年の夏休み、同級生と野尻湖に旅行に。夕方の静かな湖面に、一隻のヨットがアンカーを下していました。



ヨット・ディングー

バウ（ヨットの先端）には、女性が膝を抱えて座っており、スキッパーの男性はジッとその女性を見つめていました。女性は背中をマストに寄りかかり、思いに耽っていました。

それを岸辺から見ていた私達は、これだ！

ヨットは女性にモテると確信。それからは、大学には行かず江の島や鎌倉材木座海岸に。

① 余談②

今振り返ると、ヨットを趣味にして企業経営に役立ったと思います。

ヨットのスピードが出、姿勢が安定する条件は、向かい風（9時から3時方向の間）です。勿論過度の強風は危険ですが、強い風の方がスピードが出ますし、安定もします。

メインセールとジブが一般的なディングーでは、スキッパーとクルーの呼吸が重要になります。スキッパーは舵取りをする艇長、クルーはセーリングを補佐する乗員です。

意外にも、追い風順風は不安定で危ない時です。この時、ヨットは余りスピードは出ませんし、乗員がケガをする事があります。ヨットは動力がありませんので、風任せのところがあります。

沖に出て風いでしまったら、風が吹くまでひたすら風を待つしかありません。セーリングにおいては、当然乗員の願うような気象条件はほとんどありません。

ある阪神タイガースファン曰く、小さい時からトラキチで人生役立った事は、幼い頃から世の中はままならないと思知らされた事だそうです。

ヨットも、同じです。

鎌倉に在った合宿所の隣に、社会人のヨット同好会のボートハウスがありました。そのボートハウスのメンバーに、怖そうな社会人がいました。最近の学生は勉強もせず、ヨット三昧と批判的な厳しい視線で私たちを見ていました。

それから四半世紀が経ち、弊社が新しい塗装工場を建設する時お世話になった塗料メーカーのエンジニア部門にその人がいました。

はじめはお互い気付かなかったのですが、食事中に趣味の話になり、お互いヨットが趣味である事が分かりました。セーリングポイントを聞くと、同じ鎌倉材木座海岸。

鎌倉材木座海岸での思い出をいろいろ話しているうちに、あの怖そうな人を思い出しました。

そうです。あの社会人が弊社塗装工場の建設担当エンジニアだったのです。それからは、取引先の人ではなく、同じヨットマンとして寝食を忘れ塗装工場の建設に取り組みました。

結果、今のフジイのものづくりを支えている、時代を先取りした塗装工場が完成しました。

弊社には十分なノウハウが無い中、ヨットに助けられたのです。

ヨットに関して、最後に一言。

ヨットマンとしての私の自慢は、船を沈（ちん）させた経験がない事です。同様業界の皆様のご支援のおかげで、会社も今まで沈（ちん）させずにいます。創業150年を迎えて社員一同頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。

Q: 下の血圧だけ110前後と高く 心配。やはり薬による治療が必要か？

〈相談者／55歳男性〉

自宅で朝晩、手首で測るタイプの血圧計で血圧測定しています。上はだいたい120～140mmHgで、下は110mmHg前後。下だけ高いようですが、上が高くなければ問題ないでしょうか？それとも薬による治療が必要になりますか。

A: 拡張期血圧(下)が高い状態も循環器疾患を招き、とても危険。服薬治療がすすめられる。心臓は全身に血液を送るポンプで、収縮と拡張を繰り返しています。心臓が収縮しているときはポンプが押された状態となり(収縮期血圧)、血圧がもっとも高くなります。一方、心臓が拡張したとき(拡張期血圧)は血圧が低くなります。収縮期血圧のほうが目立つのでこちらを気にされる人が多いのですが、血液が流れている時間のうち約半分は拡張期なので、拡張期血圧も重要です。

血圧が高いと血管の内側の壁を傷つけて詰まりやすくなりますが、これは拡張期に動脈がうまくリラックスできていない"拡張期血圧が高い"場合にもおこりやすいのです。拡張期血圧と循環器疾患死亡(脳卒中や心臓病)の関連を調べた調査では、正常値の80mmHg未満と比べると、85～89mmHgでも1.5倍、100mmHg以上だと2倍以上死亡率が高くなっています。

日本高血圧学会のガイドラインでは、拡張期血圧110mmHg以上は「Ⅲ度高血圧」となり、ただちに服薬治療が必要な状態となります。早めにかかりつけの先生にご相談ください。日常生活上の注意は収縮期血圧が高い場合と同じです。食生活では塩分を減らし、野菜や果物をしっかり食べてください。また肥満があれば摂取エネルギーを抑えて減量を。もし飲酒されているようなら少量(ビール1缶くらい)にとどめます。かかりつけの先生の指示があればウォーキングなどの運動も有効です。

なお手首式の血圧計は測定精度がばらつきやすいので、上腕にカフを巻き付けるタイプの血圧計で家庭血圧の再評価を行う必要があるでしょう。



Photo Gallery 29



東京都 岩城えりさん

タイトル: キヤ

中国人観光客さんの爆買いを見ました。
炊飯器、ウォシュレット、スーツケース、電子レンジ・・・他にもお化粧品が超たくさんです。(^^)
ありがとうございます！！いっぱい買ってきてうれしいです。銀座通りがやかまし〜いッ(^^;))

石川県 倉本二郎さん
タイトル: 北陸へようこそ

我が県にやっと新幹線が到着致しました。
東京まで便利になりました。
ホームに入ってくる新幹線に駅名「金沢」を入れて撮りたいのに難しくて(僕が未熟?)
やっとこさ撮れた写真です。

—浮かれてる地元のおっさん—



兵庫県 青田万利子さん

タイトル: 早朝

線路の上、気をつけて歩くんだよ。
あたたかくなってきたから線路が冷んやり気持ちいいのかな。



群馬県 北里信治さん

タイトル: ボランティアさんありがとう

きれいな女性たちが虫よけ？
違います、東京マラソンで沿道の人が
筋肉痛予防のスプレーを貸してます。
しかし、タイツの上からは効果ないの
ですが…。

宮崎県 田子倫太郎さん

タイトル: 埋もれた鳥居

鹿児島島の桜島は噴火が続いています。
この鳥居で大正3年の噴火の凄さがわ
かると思います。黒神埋没鳥居と呼ば
れ、そのまま現存しています。
鹿児島は火山灰が多く洗濯物が干せず
皆さん大変です。



長野県 鈴木義一さん

タイトル: 火山ガス



箱根・大涌谷から300mほど下の所
です。国道から白い湯気が見えたの
で30m位入り込んで撮りました。
木々が火山ガスで倒れ、まるで地獄絵
のようです。後で気づきましたが火山
ガス発生立ち入り禁止の看板がありま
した。





神奈川県 瀧岡令子さん

タイトル: 素敵

どこの競馬場か忘れまして。
ただ馬と走る猫がとてもうらやましく
お気に入りの写真です。
しかも競走馬ですよ！！

高知県 田中 聡さん

タイトル: 久礼大正市場

高知県久礼港・大正市場の入口には、まるい
懐かしいポストがあり、市場は鮮度の良いカ
ツオが並んでいます。

田中鮮魚店でカツオ刺身を買ひ、まかない食
堂で味噌汁とごはんを食べるのが最高に旨く
安い楽しみ方です。



大阪府 山本修平さん

タイトル: 新・ハチ公

東京大学農学部にハチ公像が建てられた
と聞いて見てきました。

飼い主は東大の上野英三郎博士で、主人
の急逝後ハチは死ぬまでのほぼ10年間
朝夕に渋谷駅に通い、博士の姿を探し求
めたそうです。



投稿写真を募集しています

- ・次回秋季号の写真&切りは平成27年9月25日です。ジャンルは自由です。
- ・フィルムカメラや、デジタルカメラで撮影した写真を、必ずタイトルとコメントを添えてご応募下さい。採用された方には記念品を送らせていただきます。

応募先: 一般社団法人日本農業機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

E-mail: sunflower@jfmma.or.jp

Next 15 decades (次なる150年)

フジコーポレーション(株)
森 田 理 恵

はじめに

弊社は今年創業150年を迎えました。

創業150年の行事として、2つの賞に挑戦しました。一つ目は、日経トップリーダー・人づくり大賞、二つ目は日本でいちばん大切にしたい会社大賞です。結果は、昨年は日経トップリーダー・人づくり大賞・優秀賞、今年は日本でいちばん大切にしたい会社大賞・審査委員会特別賞を受賞しました。今回は、この2つの賞について紹介します。

1. 日経トップリーダー・人づくり大賞

日経トップリーダー(日経BP社)創刊30周年を記念して、昨年(2014年)創設されたのが、「日経トップリーダー・人づくり大賞」です。企業経営で大切なことは、人づくりです。人材育成に優れた中小企業を表彰することによって、人づくりの大切さを世間に広く啓蒙したいという日経BP社の思いから、この賞は生まれました。弊社の受賞理由の高齢者雇用と若手社員の育成について説明します。

①高齢者は会社の財産

弊社の最高齢は79歳の女性パート社員です。彼女を筆頭に、工場から営業、事務職まで様々な職域で高齢社員が活躍しています。

また、HPのキャリア募集では「50代・60代の経験者、特に70才まで継続雇用希望者優遇」と高齢者の採用にも力を入れています。高齢社員は会社の財産です。何故ならば、「知恵、技術、ノウハウ、経験の塊」だからです。高齢社員は多くの失敗経験を持ち、そこからものづくりに必要な



毎年創業記念日前日に行われる表彰式後の記念撮影

多くのことを身に付けています。高齢社員が活躍しやすいように、弊社ではソフト(制度)やハード(環境)の両面で様々な工夫を凝らしています。

ソフト面では、60歳の定年後、希望者は全員70歳まで雇用できる継続雇用制度を採用しました。60歳定年前と同じ職やシニアアドバイザー(SA)等、様々な立場で若い社員の育成にあたります。実際は、70歳を過ぎてても若い社員の育成等に当たっている社員もいます。現在、70歳以上の高齢社員は2名います。定年後の雇用形態も本人の希望で選ぶことができます。自分の健康状態や家族の事情を考慮し、定年前と同じフルタイム勤務である月給制の「準社員」か、時給制の「パートタイム」を選択できます。「パートタイム」では、出勤する曜日や時間を会社と決めます。

ハード面では、次の様な工夫を凝らしています。工場内の床をフルフラットにしました。これは、高齢者のつまずきや転倒を防ぐためです。電線やガス管等は全て天井に配策しました。あわせて工具類も天井からつるしました。また床に断熱材を使用し、結露防止対策をしています。更に搬送と

組立を一台の台車でできるようにし、重い部品の載せ替え作業等の重労働を軽減しました。このように高齢者でも働きやすく安全な環境を整えています。

②若手社員の育成

若手社員の中には、入社してから大学院（修士や博士）に通学する社員や他企業で長期研修する社員がいます。今も、ドクターの学位取得を目指す社員がいます。その社員は働きながら週3～4日大学院へ通い、この春博士課程後期を終了、博士論文の学会紙への掲載と博士号の授与を待っています。大学院で専攻を決める時の会社からの条件は、現在の事業や仕事に関係ない分野、できればリベラルアートの研究です。目先の利益ではなく、20年、30年後そして150年後を考えてです。国内の他企業へ半年から2年ほど出向する社員もいます。そこで、弊社にはないノウハウや新技術を学んできます。弊社に戻ってから、取締役へ成長した社員もいます。高齢社員と若手社員の力が融合することで、思いもよらないことが起きることがあります。それが、「第四回ものづくり日本大賞 優秀賞」です。若手社員の発想から開発していた溶接ロボットが行き詰ったとき、アドバイスをくれたのが、高齢社員でした。このアドバイスから溶接ロボットは完成し、農業機械業界では初めて「ものづくり日本大賞優秀賞」を受賞しました。

2. 日本でいちばん大切にしたい会社大賞



日本でいちばん大切にしたい会社大賞表彰式

この賞の審査ポイントとして、企業が大切にすべき項目として以下の5点を挙げています。

1. 従業員とその家族
2. 外注先・仕入先
3. 顧客
4. 地域社会
5. 株主

平成22年から実施され、昨年で第5回目となりました。弊社では、

①家族主義

災害時はOBにも労力の提供などの、支援・救済活動を行っています。また、会社敷地内には、桜の木を植樹し、根元にはOBの名前をいれたプレートが飾ってあります。

②働きやすい工場

高齢者が働きやすいことを前提に行った環境づくりは、男性社員や女性社員にとっても働きやすい工場となっています。これについては、日経BP主催・人づくり大賞審査委員会特別賞受賞の中で説明した通りです。

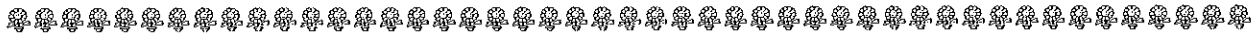
③様々な人材の活用

フジイのダイバーシティ経営は創業以来の企業文化です。2013年には経済産業省・ダイバーシティ経営企業100選に選ばれました。「会社は社会の縮図」という企業理念の下、女性の活用や、高齢者の雇用延長を行ってきました。2014年には厚生労働省・精神障がい者等雇用促進モデル事業に採択され、8月にモデル事業による雇用を開始しました。本年2015年も、厚生労働省のモデル事業として精神障がい者の職域拡大に取り組んでいきます。更には、障がい者支援施設の支援も行っています。具体的には、障がい者支援施設が製造しているお菓子をお土産にして利用しています。その他にも社員にも協力してもらい、年に数回お菓子の販売をしています。この販売会は好評で、一人で2本、3本のロールケーキを購入している社員もいます。メタボを心配する程、毎回沢山購入する社員もいます。(笑)

3. 最後に

今年で、創業150年をお陰様で迎える事ができました。これからも、社会を支える部品や機械といった「ものづくり」に取り組んで行きたいと思います。そして、Next 15 decades（次なる150年）も続くような企業を目指します。

これからも、末永くよろしく願いいたします。



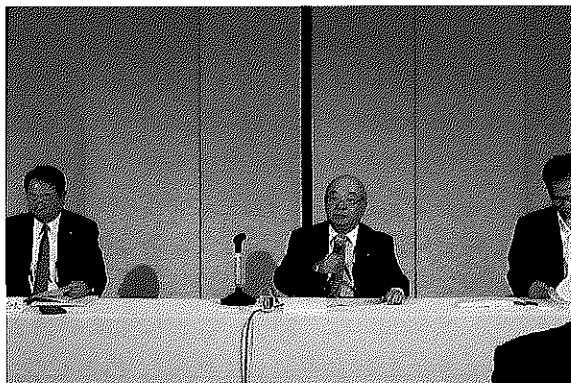
日農工 だより



定時総会の開催

第52回定時総会を、5月27日(水)八芳園(港区白金台)にて開催しました。

山岡会長より挨拶の後、来賓として経済産業省産業機械課長佐脇紀代志氏、農林水産省技術普及課生産資材対策室長松岡謙二氏よりご挨拶をいただきました。



山岡会長挨拶

議事に入り、平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について審議し承認されました。

続いて、理事の選任が行われ、本田技研工業㈱五十嵐雅行氏が理事に就任しました。

総会終了後、第54回従業員功労表彰式を執り行い、今年度は29名の方々が受賞されました。

お・知・ら・せ

日農工事務局に、フレッシュマンが入りましたので紹介します。吉村英敏です、どうぞよろしくお願いします。以下本人談・・・

入社にあたり、業界の更なる発展と会員企業各社の繁栄に少しでも貢献できるよう一職員として

微力ながら取り組んでゆく所存です。実家は農家ではありませんが、幼い頃より田植えの体験、山菜採り、魚つりをしており自然と触れ合う機会が多くありました。大学では農業機械を専攻し、小型ではありますが、エンジン分解・トラクター・建設機械の運転実習をしていました。ですが当業界の知識にまだまだ乏しいですので、これから勉強させていただきます。関係各位におかれましては、ご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

趣味は中学から続けているサッカー、高校から乗り始めたバイクです。サッカーを始めてからは、練習がてら飼っている犬(柴犬)とサッカーボールで遊んでいました。サッカーは見ることも好きでテレビ中継や会場で観戦することもあります。バイクでは、よく晴れた気持ちのいい日にツーリングへ出かけます。地域特有の景色が好きで、出来るだけ訪れたことのない地域に出かけています。

(道に迷うことがよくあります) 大学時代は、バイクで実家(新潟県)に帰省していました。

簡単ではございますがこれにて私の自己紹介とさせていただきます。至らない点が多いですが、精一杯努力してゆきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新潟県出身

平成27年3月 東京農業大学
地域環境科学部生産環境工学科
卒業

家族構成 父 母

兄(1人) 姉(1人) 祖母

柴犬(1匹)



新社長の紹介

〈株式会社啓文社製作所〉

代表取締役社長に柴田修明(しばた・のぶあき)氏が就任されました。

柴田社長の主な経歴は、昭和53年4月に㈱広島銀行入行、平成22年12月㈱広島銀行退職、平成23年1月㈱啓文社製作所入社経営企画室長、平成24年8月同社専務取締役就任、平成27年4月1日株式会社啓文社製作所代表取締役社長にご就任。



新社長に抱負を語っていただきました。

「入社以来まだ5年目の駆け出しです。各お取引先様、同業他社の諸先輩方のご指導、ご鞭撻を賜りながら社業に邁進する覚悟です。農業機械メーカーの将来を見据え、国内海外バランスのとれた経営を目指したいと考えています。

「野火焼不尽 春風吹又生(野火焼けど尽きず 春風吹いて又生ず)」今まで培った技術を生かし、新分野へ挑戦していきたいと考えています。前任社長同様今後とも宜しくお願いします。

趣味は、映画鑑賞、散歩

座右の銘は、「素直に、真面目に、実直に」

福岡県出身、血液型はA型

家族は夫人と長男、長女

(本社所在地)

〒731-0523

広島県安芸高田市吉田町山手739-6

株式会社啓文社製作所

TEL0826-43-1201 / FAX0826-43-1768

ケイブン 育苗器、真空播種機、水稲用播種機、水稲育苗用関連機器、野菜・園芸用関連機器、他作業機

〈株式会社共栄社〉

代表取締役社長に林秀訓(はやし・ひでのり)氏が就任されました。

林社長の主な経歴は、平成14年4月㈱共栄社入社、平成17年11月同社事業企画部長、平成19年3月取締役、平成23年11月常務取締役、平成27年3月26日㈱共栄社代表取締役社長にご就任。



新社長に抱負を語っていただきました。

㈱共栄社は今年で創業105年目になりますが、お客様と社員に愛される事でここまで事業を継続できたと考えております。社長就任にあたり、このことをしっかりと胸に刻み、お客様が求める機械を実直に研究し「顧客満足度100%」という経営方針の実現に向けて、社員の気持ちを高めながら取り組んでまいりたいと考えております。

当社の現在のメイン事業は芝草管理機の製造・販売ですが、元は耕運機などの農業機械で成長した会社でございます。今後は農業分野にも取り組んでいき農業に携わる方たちのお役に立ちたいと考えておりますので、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

趣味は、ドライブ、読書、映画鑑賞

座右の銘は、「成功の要諦は、成功するまで続けるところにある」

愛知県出身

血液型はB型、家族は夫人と子供

(本社所在地)

〒442-8530

愛知県豊川市美幸町1丁目26

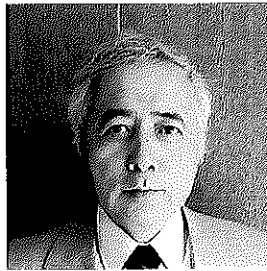
株式会社共栄社

TEL0533-84-1221 / FAX0533-84-1220

パロネス 芝刈機、芝管理機械、草刈機、ハンマーナイフモア、運動公園用整地機

〈マメトラ農機株式会社〉

代表取締役社長に細田康(ほそだ・やすし)氏が就任されました。



細田社長の主な経歴は、昭和53年4月にマメトラ農機(株)入社、岐阜営業所配属、昭和59年3月細田農機(株)入社、副社長就任、平成25年11月マメトラ農機(株)取締役就任、平成26年11月細田農機(株)代表取締役社長就任、平成27年4月21日マメトラ農機(株)代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

小型ティラより始まり今日まで50年農業機械を主力に歩んで参りました。近年変化多様な時代ですが、今迄の技術を生かし「人々に信頼される魅力ある製品を」作って行きたいと思えます。

趣味は、仕事

座右の銘は、感謝

埼玉県出身

血液型はA型、家族は父と母

(本社所在地)

〒363-0017

埼玉県桶川市西2丁目9-37

マメトラ農機株式会社

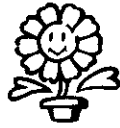
TEL048-771-1181 / FAX048-771-1529

マメトラ ティラー、管理機、野菜移植機、ハンマーナイフモータ、乗用ロータリーモータ、振動掘取機、運搬車、ビーンハーベスタ、水田溝切機、土壌消毒機、長ネギ乗用管理機

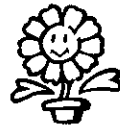
日農工今後の主な予定

- 平成27年10月23日(金) 地方大会
ホテル国際21 14:00~(予定)
長野市県町576 TEL026-234-1111
- 平成27年10月24日(土) ゴルフ懇親会
長野カントリークラブ
長野市上ヶ屋2471 TEL026-239-2121
- 平成28年1月13日(水) 新年賀詞交歓会
八芳園 12:00~
東京都港区白金台1-1-1 TEL03-3443-3111
- 平成28年3月28日(月) 理事会
機械振興会館 14:30~(予定)
東京都港区芝公園3-5-8



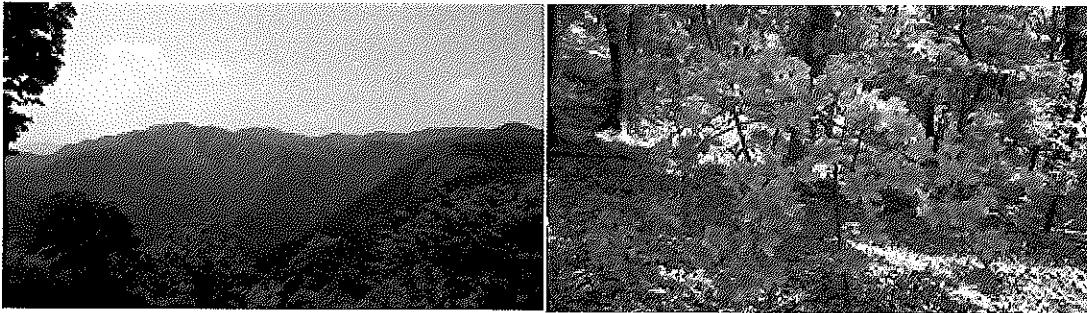


編集後記



春の息吹の頃

- ▽ 埼玉や千葉の郊外では、5月のゴールデンウィークは田植えのシーズンです。それまでは埃っぽく乾燥していた田んぼに水が張られ、冬眠していた蛙がゲロゲロ騒がしく啼きだして賑やかになります。田植えの後は、緑色の苗が規則正しく並んで、見ているだけで清々くなる季節です。
- ▽ 5月になると、東京タワーではたくさんの小さな鯉のぼりが上げられ、来場者を楽しませています。でも、何故ここに？と頭をかしげるのは私だけではないと思います。最近では、あまり鯉のぼりを見る機会がなくなってしまったので、かえって新鮮な風景です。外国の観光客は珍しがって写真を撮っていますが、この情景を英語で解説するのはちょっと難儀ですね。



- ▽ 山へ行くと新緑がきらきらと美しく輝いています。若葉を通して太陽の光を浴びながら、稜線を歩くトレッカーにとってなんと幸せなことか。そんな至極の幸せを奪われることが時々あります。最近流行の「トレイル・ラン」です。普段はハイカーが歩く静かな山道をタイムを競って疾走するスポーツで、ゆっくり山歩きを楽しみたい人にとっては、はっきり言って迷惑なことです。どこかの競技場でやってほしいものです。
- ▽ 今年はエルニーニョの影響で、梅雨明けが遅くなるとの嬉しくない長期予報が発表されましたが、春の息吹の頃、1年を通じて一番過ごしやすい時期に心身共にリフレッシュしてイヤな梅雨を乗り切りましょう。

ひまわり -日農工会報- Vol.53/夏季号

平成27(2015)年7月1日発行

発行人/ 田村敏彦

発行所/一般社団法人日本農業機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号(機械振興会館)

TEL 03-3433-0415/FAX 03-3433-1528

URL <http://www.jfmma.or.jp>

E-mail sunflower@jfmma.or.jp



目録



目次

1. 序言 1

2. 第一章 5

3. 第二章 15

4. 第三章 25

5. 第四章 35

6. 第五章 45

7. 第六章 55

8. 第七章 65

9. 第八章 75

10. 第九章 85

11. 第十章 95

12. 第十一章 105

13. 第十二章 115

14. 第十三章 125

15. 第十四章 135

16. 第十五章 145

17. 第十六章 155

18. 第十七章 165

19. 第十八章 175

20. 第十九章 185

21. 第二十章 195

22. 第二十一章 205

23. 第二十二章 215

24. 第二十三章 225

25. 第二十四章 235

26. 第二十五章 245

27. 第二十六章 255

28. 第二十七章 265

29. 第二十八章 275

30. 第二十九章 285

31. 第三十章 295

32. 第三十一章 305

33. 第三十二章 315

34. 第三十三章 325

35. 第三十四章 335

36. 第三十五章 345

37. 第三十六章 355

38. 第三十七章 365

39. 第三十八章 375

40. 第三十九章 385

41. 第四十章 395

42. 第四十一章 405

43. 第四十二章 415

44. 第四十三章 425

45. 第四十四章 435

46. 第四十五章 445

47. 第四十六章 455

48. 第四十七章 465

49. 第四十八章 475

50. 第四十九章 485

51. 第五十章 495

52. 第五十一章 505

53. 第五十二章 515

54. 第五十三章 525

55. 第五十四章 535

56. 第五十五章 545

57. 第五十六章 555

58. 第五十七章 565

59. 第五十八章 575

60. 第五十九章 585

61. 第六十章 595

62. 第六十一章 605

63. 第六十二章 615

64. 第六十三章 625

65. 第六十四章 635

66. 第六十五章 645

67. 第六十六章 655

68. 第六十七章 665

69. 第六十八章 675

70. 第六十九章 685

71. 第七十章 695

72. 第七十一章 705

73. 第七十二章 715

74. 第七十三章 725

75. 第七十四章 735

76. 第七十五章 745

77. 第七十六章 755

78. 第七十七章 765

79. 第七十八章 775

80. 第七十九章 785

81. 第八十章 795

82. 第八十一章 805

83. 第八十二章 815

84. 第八十三章 825

85. 第八十四章 835

86. 第八十五章 845

87. 第八十六章 855

88. 第八十七章 865

89. 第八十八章 875

90. 第八十九章 885

91. 第九十章 895

92. 第九十一章 905

93. 第九十二章 915

94. 第九十三章 925

95. 第九十四章 935

96. 第九十五章 945

97. 第九十六章 955

98. 第九十七章 965

99. 第九十八章 975

100. 第九十九章 985

101. 第一百章 995



本書は、著者の長年の経験と研究に基づき、最新の技術と知識を網羅的に紹介している。読者は、本書を通じて、最新の技術と知識を習得し、実践に活かすことができる。本書は、初心者から上級者まで、幅広い読者層を対象としている。本書は、最新の技術と知識を網羅的に紹介している。読者は、本書を通じて、最新の技術と知識を習得し、実践に活かすことができる。本書は、初心者から上級者まで、幅広い読者層を対象としている。

本書は、著者の長年の経験と研究に基づき、最新の技術と知識を網羅的に紹介している。読者は、本書を通じて、最新の技術と知識を習得し、実践に活かすことができる。本書は、初心者から上級者まで、幅広い読者層を対象としている。本書は、最新の技術と知識を網羅的に紹介している。読者は、本書を通じて、最新の技術と知識を習得し、実践に活かすことができる。本書は、初心者から上級者まで、幅広い読者層を対象としている。

Copyright © 2024

ISBN: 978-4-123-45678-9

発行所: 株式会社ABC

お問い合わせ

お問い合わせ先: 株式会社ABC 営業部

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

TEL: 03-1234-5678

FAX: 03-1234-5679

E-mail: abc@abc.co.jp